

【平成 28 年 9 月の経済報告】

平成 28 年 9 月 27 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。盛夏、平成 28 年 9 月の経済報告をお届けします。

1. 全般動向

<その 1>

平成 28 年 10 月 4 日（火）に、SIP シンポジウムが開催されます。

「戦略的イノベーション創造プログラム」（SIP）とは、総合科学技術・イノベーション会議が自らの司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野の枠を越えたマネジメントに主導的な役割を果たすことを通じて、科学技術イノベーションを実現するための国家プロジェクトです。国民にとって真に重要な課題の解決を図るとともに、日本の経済・産業力にとって重要な 11 の課題を強力にリードする 11 人のプログラムディレクターを中心に、基礎研究から実用化・事業化、まさに出口までを見据え一貫通貫で研究開発を推進することを通じて科学技術イノベーションの実現を目指しています。

本シンポジウムでは、人工知能技術戦略会議 議長 安西 祐一郎氏の基調講演や、課題進捗状況の発表に加え、パネルディスカッションが行われる予定です。

プログラム予定

時刻 プログラム内容

9：00～ 開場（受付開始）

10：00～10：05 開会挨拶

鶴保庸介内閣府特命担当大臣（科学技術政策）

10：05～10：50

基調講演 「AI、ビッグデータ、IoT の研究開発と Society5.0 の実現」（仮）

安西祐一郎氏（独立行政法人日本学術振興会理事長、人工知能技術戦略会議議長）

10：50～11：00 SIP 概要説明

松本 英三（内閣府大臣官房審議官）

11：00～12：00 課題進捗状況説明

※1 課題につき約 15 分程度のプレゼンテーションを予定しています。

11：55～13：00 休憩

13：00～14：45 課題進捗状況説明

※1 課題につき約 15 分程度のプレゼンテーションを予定しています。

14：45～15：00 休憩

15：00～16：30 パネルディスカッション

16：30～16：40 閉会挨拶

<その2>

経済産業省の平成 29 年度産業技術関係予算、概算要求の概要が公開されています。
 詳細は以下の HP をご参照下さい。

http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2017/pdf/01_9.pdf

2. 各経済指標

◎ 月例報告（内閣府）（平成 28 年 9 月 16 日公表） ※最新のデータで作成

【日本経済の基調判断】

<現状>

- ・景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。
- ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。

<先行き>

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

【以下は、企業収益、生産分野の概要】



詳細は以下のHPをご参照下さい。

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2016/09kaigi.pdf>

◎ 設備投資

平成 28 年 7 月実績：機械受注統計調査報告

(平成 28 年 9 月 12 日内閣府経済社会総合研究所)

機械受注総額の動向をみると、2016（平成 28）年 6 月前月比 10.1%増の後、7 月は同 2.8%減の 2 兆 1,489 億円となった。

需要者別にみると、民需は前月比 1.2%減の 9,838 億円、官公需は同 22.0%増の 2,919 億円、外需は同 11.7%減の 7,248 億円、代理店は同 4.1%増の 1,189 億円となった。

民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2016(平成 28)年 6 月前月比 8.3%増の後、7 月は同 4.9%増の 8,919 億円となった。このうち、製造業は同 0.3%増の 3,677 億円、非製造業（除く船舶・電力）は同 8.6%増の 5,251 億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2015年 (平成27年)		2016年 (平成28年)			2016年 (平成28年)			
		7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (見直し)	4月 (実績)	5月 (実績)	6月 (実績)	7月 (実績)
受注総額		-3.9	4.6	-4.4	-6.1	4.3	-12.8	-11.5	10.1	-2.8
民需		-5.5	6.3	12.4	-17.1	12.4	-20.2	-1.8	6.9	-1.2
〃 (除船電)		-6.5	2.6	6.7	-9.2	5.2	-11.0	-1.4	8.3	4.9
製造業		-9.6	-3.0	13.7	-13.4	14.2	-13.3	-6.4	17.7	0.3
非製造業(除船電)		-4.9	5.6	3.5	-5.0	-1.5	-3.9	-0.3	2.1	8.6
官公需		-8.0	-11.1	20.0	-13.3	2.4	-35.7	-7.6	12.3	22.0
外需		3.8	9.1	-26.6	3.7	1.8	-6.9	-14.8	10.8	-11.7
代理店		6.0	3.4	6.3	-8.5	11.1	-3.9	-7.3	12.5	4.1

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下のHPをご参照下さい。

<http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1607juchu.html>

◎ 鉱工業指数調査

【最新プレス情報 平成 28 年 7 月分（速報）】（平成 28 年 9 月 14 日発表）

鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)
 ～製造業の動きから見る日本の景気～

<概況>

製造工業稼働率指数は、96.2 で前月比 0.6%の上昇であった。

製造工業生産能力指数は、94.4 で前月比-0.2%の低下であった。

製造工業生産能力・稼働率指数、平成22年(2010年) = 100

	季節調整済指数		原指数		
	指数	前月比	指数	前月比	前年同月比
稼働率	96.2	0.6	100.4	0.4	-4.6
生産能力			94.4	-0.2	-0.8

鉱工業指数、平成22年(2010年) = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比	指数	前年同月比
生産 (速報値)	96.5 (96.9)	-0.4 (0.0)	98.7 (99.1)	-4.2 (-3.8)
出荷 (速報値)	95.8 (96.0)	0.7 (0.9)	96.2 (96.4)	-4.0 (-3.8)
在庫 (速報値)	111.2 (111.2)	-2.4 (-2.4)	113.7 (113.7)	-1.8 (-1.8)
在庫率 (速報値)	117.3 (117.1)	1.1 (0.9)	116.9 (116.7)	4.0 (3.8)

<電子部品・デバイス工業、電気機械工業>

(5. 電子部品・デバイス工業 : Electronic parts and devices)										(6. 電気機械工業 : Electrical machinery)										
	稼働率 Operating Ratio					生産能力(米) Production Capacity					稼働率 Operating Ratio					生産能力(米) Production Capacity				
	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index			季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index			季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index			季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	指数	前月比	指数	前月比	前年同月比	指数	前月比	指数	前月比	前年同月比	指数	前月比	指数	前月比	前年同月比	指数	前月比	指数	前月比	前年同月比
平成 25 年			88.7	3.3	104.0															
26 年			96.5	8.8	103.2															
27 年			96.5	0.0	103.3															
平成 25 年度			90.4	5.5	104.0															
26 年度			98.4	8.8	100.4															
27 年度			95.0	▲ 3.5	103.1															
平成27 年 1 期	96.1	▲ 4.9	97.6	0.6	100.8	0.4	0.8	98.7	1.2	113.8	▲ 3.2	101.7	0.2	3.5	Q2 2016					
2 期	94.7	▲ 1.5	99.5	▲ 2.9	101.0	0.2	2.2	97.9	▲ 0.8	96.2	2.2	101.7	0.0	3.2	Q3					
3 期	94.6	▲ 0.1	92.6	▲ 5.3	103.3	2.3	2.1	99.8	1.9	93.9	1.1	102.2	0.5	3.7	Q4					
平成28 年 1 期	93.4	▲ 1.3	90.3	▲ 6.1	103.1	▲ 0.2	2.7	102.4	2.6	96.0	7.3	102.4	0.2	0.9	Q1 2016					
2 期	91.2	▲ 2.4	92.6	▲ 5.1	102.9	▲ 0.2	2.1	102.0	▲ 0.4	117.6	3.3	102.5	0.1	0.8	Q2					
平成27 年 5 月	95.0	▲ 2.7	96.9	▲ 3.2	100.4	0.5	0.0	97.5	▲ 2.3	105.0	▲ 7.7	101.5	0.3	3.4	May 2015					
6 月	95.7	0.7	101.0	2.1	100.8	0.4	0.8	98.7	1.2	125.6	0.9	101.7	0.2	3.5	Jun.					
7 月	94.6	▲ 1.1	101.0	▲ 1.6	101.0	0.2	2.6	96.5	▲ 2.2	117.7	▲ 0.5	101.7	0.0	3.5	Jul.					
8 月	95.6	▲ 1.1	94.7	▲ 3.6	101.1	0.1	2.6	96.9	0.4	80.4	4.0	101.7	0.0	3.5	Aug.					
9 月	95.8	2.4	102.7	▲ 3.7	101.0	▲ 0.1	2.2	100.3	3.5	90.6	4.4	101.7	0.0	3.2	Sep.					
10 月	94.3	▲ 1.6	94.2	▲ 6.4	103.2	2.2	2.2	101.1	0.8	93.9	▲ 2.6	102.1	0.4	3.5	Oct.					
11 月	95.4	1.2	93.3	▲ 3.2	103.4	0.2	2.5	99.8	▲ 1.3	93.2	4.0	102.2	0.1	3.7	Nov.					
12 月	94.2	▲ 1.3	90.2	▲ 6.4	103.3	▲ 0.1	2.1	98.4	▲ 1.4	94.5	1.8	102.2	0.0	3.7	Dec.					
平成28 年 1 月	93.4	▲ 0.8	88.2	▲ 11.4	103.2	▲ 0.1	2.8	103.4	5.1	85.0	▲ 0.4	102.1	▲ 0.1	0.9	Jan. 2016					
2 月	92.6	▲ 0.9	87.8	▲ 3.1	103.1	▲ 0.1	2.4	98.6	▲ 4.6	93.8	8.3	102.9	0.8	1.4	Feb.					
3 月	94.2	1.7	94.8	▲ 3.7	103.1	0.0	2.7	105.1	6.6	109.1	12.8	102.4	▲ 0.5	0.9	Mar.					
4 月	93.6	▲ 0.6	90.0	▲ 5.1	102.5	▲ 0.6	2.6	103.2	▲ 1.8	112.0	1.1	102.6	0.2	1.4	Apr.					
5 月	91.0	▲ 2.8	93.8	▲ 3.2	102.9	0.4	2.5	99.5	▲ 3.6	109.6	4.4	102.5	▲ 0.1	1.0	May					
6 月	89.1	▲ 2.1	94.0	▲ 6.9	102.9	0.0	2.1	103.2	3.7	131.3	4.5	102.5	0.0	0.8	Jun.					
7 月	92.9	4.2	97.1	▲ 3.9	102.5	▲ 0.4	1.5	105.7	2.4	123.4	4.8	102.5	0.0	0.8	Jul.					

※ なお、詳細は以下のHPをご参照下さい。

http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2010_201607nj.pdf

2. その他の動向

NEDO「CEATEC JAPAN 2016」に出展 ―超スマート社会を支える技術を展示へ―
NEDOは、10月4日から幕張メッセで開催される「CEATEC JAPAN 2016」に出展します。

展示ブースでは、「NEDOの技術で支える未来のIoT社会」をテーマに、その社会像を「超スマート社会」と位置づけ、その実現を支えるためのデバイス技術、ソフトウェア技

術、IoTアプリケーション事例を紹介します。

